

1 設置目的・経緯

- 女性の就業率の増加による保育需要の高まりや急速な少子化により、区立幼稚園は園児数が減少しているが、障害児保育や3歳児以降の預け先として一定のニーズも存在している。
- 令和6年3月に策定した第二次区立小・中学校および区立幼稚園の適正配置基本方針では検討委員会を設置して、区立幼稚園のあり方について議論することとしている。
- 検討委員会では、適正規模、支援を必要とする園児、保護者ニーズ（3年保育、預かり保育、給食）など区立幼稚園に求められる役割について議論する。
- 検討委員会で議論した内容を踏まえて、令和8年度に実施計画を策定する。

2 検討テーマ

適正規模

園児数の推移を踏まえた適正な規模について

支援を必要とする園児

障害児など支援を必要とする幼児について

保護者ニーズ

3年保育、預かり保育、給食などへの対応について

3 議題内容・スケジュール

実施年度	実施回数	議題内容
令和6年度	1回目	<ul style="list-style-type: none"> ・区立幼稚園の現状 ・練馬区立幼稚園のあり方検討委員会における検討視点について ・保護者向けのアンケート調査について
	2回目	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者向けのアンケート結果 ・適正規模 ・障害児保育、3年保育、など
令和7年度	3回目	<ul style="list-style-type: none"> ・障害児保育、3年保育、など ・預かり保育、給食、相談機能、など
	4回目	<ul style="list-style-type: none"> ・預かり保育、給食、相談機能、など
	5回目	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの総括

練馬区立幼稚園のあり方検討委員会で議論した内容を踏まえて、令和8年度に『**実施計画**』を策定